

こんにちはは町長です。

梅雨が長かっただけでなく、梅雨明け直後からは猛烈な暑さが続き、体調管理が大変だと思えます。加えて今年も、東日本大震災の影響で電力需給がひっ迫しているという特別な要因もあります。我慢もほどほどにということをお頭に置いて、この夏を乗り切りたいと思います。

今回は、昨年から続く不思議な言葉シリーズで、時節にぴったりの「節電所」。先日この言葉をみて唖然としましたが、環境重視の生活スタイルを志向する方々の間では、10年近く前から使われているそうです。その意味は、「家庭で無駄についている電気器具のスイッチを切ったり、省エネ家電に買い替えたりして節電に取り組むことにより、新たな発電所を建設するのと同等の価値がある」とするものです。家庭の電力消費の主役はエアコンと冷蔵庫ですが、いずれも10年前頃と比べると消費電力は1/5程度にまで下がっています。日陰をつくったり、空気の流れを工夫することはもちろんです。



SIC開通記念式典で主催者あいさつを行う町長

が、買い替えを前倒しすることも大きな節電効果があることに気づかされます。

我が国の電力供給の1/3を占める原子力から一気に脱却するのは現実問題として不可能ですから、再生可能エネルギーの促進と、電力使用者側での節電所の運営が、中長期的にプログラム化されてくることで大きなポイントとなりそうです。今後、電力ひっ迫度の「見える化」などと合わせ、みんなからこの問題に対するアイデアが出てくると思います。

ご冥福をお祈りします

氏名 年齢 地区

生田 滋	86	口別所
野口 敏智	97	大原
木嶋 茂子	85	丸山
井中 喜代子	99	押口
井上 まち子	95	坂長
釜田 鶴明	86	二部
福田 輝子	79	谷川
橋田 富男	91	父原
細田 文江	97	荘
相見 京子	57	栃原
清水 美佐子	78	添谷

(敬称略)

伯耆町人権啓発講座

ひまわりセミナー

「人権」と構えずに、人との出逢いの場、身近なことを学ぶ機会として皆さんお誘い合わせのうえ、どうぞ気軽にご参加ください。皆さんのお越しをお待ちしています。



と き 8月9日(火) 19:30~21:00
 テーマ 「同和問題」わたしたち発メッセージ
 講師 部落問題の解決を願う・ねっとわーく・とっとり 代表 清美久夫さん
 ところ 農村環境改善センター

と き 8月23日(火) 9:30~11:00
 テーマ 「高齢者の人権」
 高齢者になっても安心して暮らせる町づくりのために
 講師 伯耆町障がい老人を支える会会長 大森紀子さん
 ところ 日光公民館

【問い合わせ先】教育委員会事務局 ☎62-0713